



Title	島津忠夫教授略歴・論著略目録
Author(s)	
Citation	語文. 1990, 53-54, p. 102-107
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/68812
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

島津忠夫教授略歴

〈学歴〉

大正十五年九月十八日

昭和八年四月

昭和十四年三月

昭和十四年四月

昭和十九年三月

昭和十九年四月

昭和二十二年三月

昭和二十二年四月

昭和二十五年三月

昭和二十五年四月

昭和三十三年十一月

昭和五十三年六月

大阪市西区江戸堀下通五丁目生。のち、大阪府堺市浜寺諏訪森町に移る。

堺市立浜寺尋常小学校入校

同卒業

大阪府立住吉中学校入学。

同卒業。

大阪第一師範学校入学。

同卒業。

京都大学文学部国語国文学専攻入学。

同卒業。

京都大学文学部大学院（旧制）国語国文学専攻入学。

同退学。

文学博士の学位を大阪大学より授与される。

〈職歴〉

昭和二十五年四月

昭和二十八年四月

昭和三十三年七月

昭和四十年六月

昭和四十年十月

昭和四十一年四月

昭和五十一年四月

大阪府立市岡高等学校教諭

大阪府立住吉高等学校教諭

佐賀大学文理学部講師

佐賀大学文理学部助教授

愛知県立女子大学兼愛知県立女子短期大学助教授

愛知県立大学兼愛知県立女子大学兼愛知県立女子短期大学助教授

愛知県立女子短期大学兼愛知県立大学教授

昭和五十二年四月

愛知県立大学評議員（至昭和五十三年三月）

昭和五十三年四月

愛知県立大学教授兼愛知県立女子短期大学教授

昭和五十五年四月

大阪大学教養部教授

大阪大学文学部大学院教授に併任（至平成二年三月）

平成二年三月

大阪大学を定年退官

非常勤講師歴

熊本大学法文学部・大阪女子大学・岐阜大学教育学部・京都大学文学部・九州大学文学部・奈良女子大学文学部・名古屋大

学文学部・南山大学文学部・関西大学文学部・金蘭女子短期大学・武庫川女子大学文学部

その他

現在（財）冷泉家時雨亭文庫評議員・五島美術館評議員

島津忠夫教授論著略目録

〈著書〉

（☆印は共著）

連歌史の研究

昭和四十四年 三月

角川書店

百人一首詠注（角川文庫）

昭和四十四年十二月

角川書店

連歌の研究

昭和四十八年 三月

角川書店

百人一首詠注 訂補改版（角川文庫）

昭和四十八年 十月

角川書店

☆袋草紙注釈 上（小沢正夫・後藤重郎・樋口芳麻呂と共著）

昭和四十九年 三月

塙書房

☆袋草紙注釈 下（小沢正夫・後藤重郎・樋口芳麻呂と共著）

昭和五十一年 三月

塙書房

宗長日記 校注（岩波文庫）

昭和五十年 四月

岩波書店

☆中世評論集（鑑賞日本古典文学）〔福田秀一・伊藤正義と共著〕

昭和五十一年 六月

角川書店

☆和漢兼作集と研究〔日比野純一と共著〕

昭和五十一年 七月

未刊国文資料

中世文学史論

昭和五十四年十一月

和泉書店

連歌集（新潮古典文学集成）

昭和五十四年十二月

新潮社

句のない道―現代短歌、そして古典への架橋―

昭和五十七年 五月

雁書館

☆日本文学史〔堀井哲夫と共著〕

昭和五十九年 一月

京都書房

☆日本文学史別記〔堀井哲夫と共著〕

☆和歌史―万葉から現代短歌まで―〔神野志隆光ら九氏と共著〕

☆和歌と漢語の間〔尾崎雄二郎・佐竹昭広と共著〕

女歌の論

NHK百人一首〔古典講読〕カセット

能と連歌

〔編著書〕

〔☆印は共編〕

大阪天満宮文庫連歌目録

俳諧旅枕

☆小城鍋島文庫目録〔城島正祥と共編〕

☆肥前島原松平文庫目録〔中村幸彦・今井源衛らと共編〕

☆中世和歌集〔中原勇夫と共編〕

小城鍋島文庫目録 続

☆連歌俳諧集〔重松裕己と共編〕

☆日本詩歌選〔荒木尚ほか十氏と共編〕

☆雲玉和歌抄〔井上宗雄と共編〕

☆熱田神宮と連歌俳諧〔森川昭と共編〕

☆東海の俳諧史〔さるみの会編〕

☆古今・新古今とその周辺〔小沢正夫と共編〕

☆六花和歌集〔三村晃功・稲田利徳・井上宗雄と共編〕

☆六花集注彰 彰考館本〔三村晃功・稲田利徳・井上宗雄と共編〕

連歌論集〔天理図書館善本叢書〕〔解題執筆〕

☆東海の芭蕉〔さるみの会編〕

☆特別書庫目録（一）〔愛知県立大学付属図書館編〕

昭和五十九年 一月

昭和六十年 四月

昭和六十年 五月

昭和六十一年 三月

昭和六十三年十一月

平成二年 一月

昭和三十六年 一月

昭和三十六年 八月

昭和三十六年 七月

昭和三十六年十二月

昭和三十八年 七月

昭和三十九年 十月

昭和四十一年 一月

昭和四十一年 四月

昭和四十三年 四月

昭和四十三年 六月

昭和四十四年 十月

昭和四十七年 七月

昭和四十七年 八月

昭和四十七年 八月

昭和四十八年 七月

昭和四十八年 十月

昭和四十八年 十月

京都書房

和泉書院

筑摩書房

雁書館

NHKサイビスセンター

和泉書院

大阪天満宮

西日本国語国文学会翻刻双書

佐賀大学付属図書館

島原公民館

西日本国語国文学会翻刻双書

佐賀大学付属図書館

西日本国語国文学会翻刻双書

新典社

古典文庫

熱田神宮

泰文堂

大学堂

古典文庫

古典文庫

八木書店

泰文堂

愛知県立大学・愛知県立女子短期大学

☆古代中世芸術論集（日本思想大系 林屋辰三郎編。『古來風体抄』
『老のくりごと』『ひとりごと』校注）

☆六家連歌抄〔石川真弘と共編〕

☆六花集注 蓬生文庫本〔三村晃功・稻田利徳・井上宗雄と共編〕

☆千句連歌集 一〔湯之上早苗・瓜生安代と共編〕

☆大東急記念文庫書目 第二〔中村幸彦・長谷川強と共編〕

攪花集 曼珠院本

額原退蔵著作集 第二卷（校訂、後記執筆）

☆太宰府天満宮連歌史 資料と研究ⅠⅣ

〔川添昭二・棚町知弥と共編〕

☆和泉流狂言選 愛知県立大学付属図書館蔵〔野崎典子と共編〕

☆千句連歌集 三〔高橋喜一・藤本徳明・荒木尚と共編〕

☆大東急記念文庫貴重書 解題 第三卷 国書之部

〔中村幸彦・長谷川強と共編〕

☆百人一首古注抄〔上条彰次と共編〕

☆中世文学選〔高橋喜一・北川忠彦と共編〕

小城鍋島文庫本平家物語

☆千句連歌集 四〔鶴崎裕雄・木藤才藏・重松裕己と共編〕

☆日本文学史辞典（谷山茂はか十一氏と共編）

☆新編国歌大観（1）（7）（刊行中）〔谷山茂らと共編〕

☆角川古語大辞典（1）（3）（刊行中）

〔中村幸彦・岡見正雄・飯倉篤義編。編集委員〕

☆和歌文学選―歌人とその作品―〔神野志隆光らと共編〕

☆含翠堂（土橋）文庫目録―統一

☆千句連歌集 七〔荒木尚・寺島樵一・鶴崎裕雄と共編〕

☆千句連歌集 八〔鶴崎裕雄・黒田彰子・宮脇真彦と共編〕

昭和四十八年 十月

昭和五十一年 九月

昭和五十二年 一月

昭和五十三年十一月

昭和五十三年十二月

昭和五十四年 四月

昭和五十四年十二月

昭和五十五年三月

昭和五十五年三月

昭和五十五年 十月

昭和五十六年 二月

昭和五十六年十一月

昭和五十七年 二月

昭和五十七年 三月

昭和五十七年 五月

昭和五十七年 八月

昭和五十七年 九月

昭和五十八年二月

平成元年四月

昭和五十九年三月

昭和六十二年九月

昭和五十九年 四月

昭和五十九年 十月

昭和六十年十二月

昭和六十三年 六月

岩波書店

古典文庫

古典文庫

古典文庫

大東急記念文庫

臨川書店

中央公論社

太宰府顕彰会

和泉書院

古典文庫

大東急記念文庫

和泉書院

和泉書院

汲古書院

古典文庫

京都書房

角川書店

角川書店

角川書店

和泉書院

大阪大学図書館

古典文庫

古典文庫

古典文庫

『長六文』と『吾妻問答』

みだれ髪の成立と鉄幹・晶子

宗祇と宗伊

新後拾遺和歌集管見

教訓状・烽火の沙汰——『平家物語』についての覚書——

雑談という名の歌論——井蛙抄おぼえがき——

三代集と定家

百人一首の女流歌人

歌枕須磨をめぐって——『源氏物語』以前以後——

宇治拾遺物語の序文

心敬の前半生

夕霧から御法・幻へ——源氏物語終結に働いた作者の意図をめぐって——

兼載雑談おぼえがき

中世語——中世文学研究のために——

以仁王と頼政——治承物語から平家物語へ——

歌枕から名所へ——三河八橋の場合——

歌語ひとつ——「すだく」考——

『筑紫道記』の問題点——宗祇の旅——

芸能史の課題

あしなうてのぼりかねたる筑波山——基佐・宗祇の確執をめぐって——

連歌師宗祇と和歌

『無名野草』をめぐって——近世和歌に関する一考察——

「なお、『研究集録』（大阪大学教養部）三十七輯には、小篇・随想・短歌評論・学会展望・書評の類まで、広く集めたので詳しくは

そちらを見られたい」

昭和五十三年 五月

昭和五十三年 十月

昭和五十四年 一月

昭和五十五年 四月

昭和五十五年 七月

昭和五十六年 四月

昭和五十六年 五月

昭和五十七年 六月

昭和五十七年 六月

昭和五十八年十二月

昭和五十九年 一月

昭和六十年 五月

昭和六十年 八月

昭和六十年 十月

昭和六十一年 一月

昭和六十一年 九月

昭和六十二年 二月

昭和六十二年十二月

昭和六十二年 一月

昭和六十二年 六月

昭和六十二年 十月

平成元年 六月

国学院雑誌

国語 国文

連歌俳諧研究

中世和歌とその周辺（笠間書院）

国語 国文

語 文

三代集の研究（明治書院）

和歌文学新論（明治書院）

今井源衛教授退官記念文学論叢

中世文学

和歌文学とその周辺（桜楓社）

中古文学

連歌研究の展開（勉誠社）

中世文学研究の三十年（中世文学会）

文 学

日本文学説林（和泉書院）

語 文

日 本 学

芸能史研究

中世文学

文 学

近世文学